

京都大学薬学研究科 DEI 推進委員会での取り組み

京都大学薬学研究科 DEI 推進委員会は、ジェンダー、出身国、出身大学など出自の異なる部局すべての構成員がその個性と能力を十全に発揮しうような、公正な教育・研究の環境整備を推進しています。

1

男女共同参画の推進

2

海外からの学生、
教職員の部局内活動・交流の支援

3

学外からの学生、
職員の部局内活動・交流の支援

4

薬学研究科内に
「女性専用多目的室」を設置

お問い合わせ

薬学研究科 DEI 推進委員会の活動に関するお問い合わせ窓口

080dei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

薬学研究科・薬学部、学生相談窓口

学生用相談フォーム

何か相談したいことやご意見がありましたら、
学生用相談フォームからお知らせください。

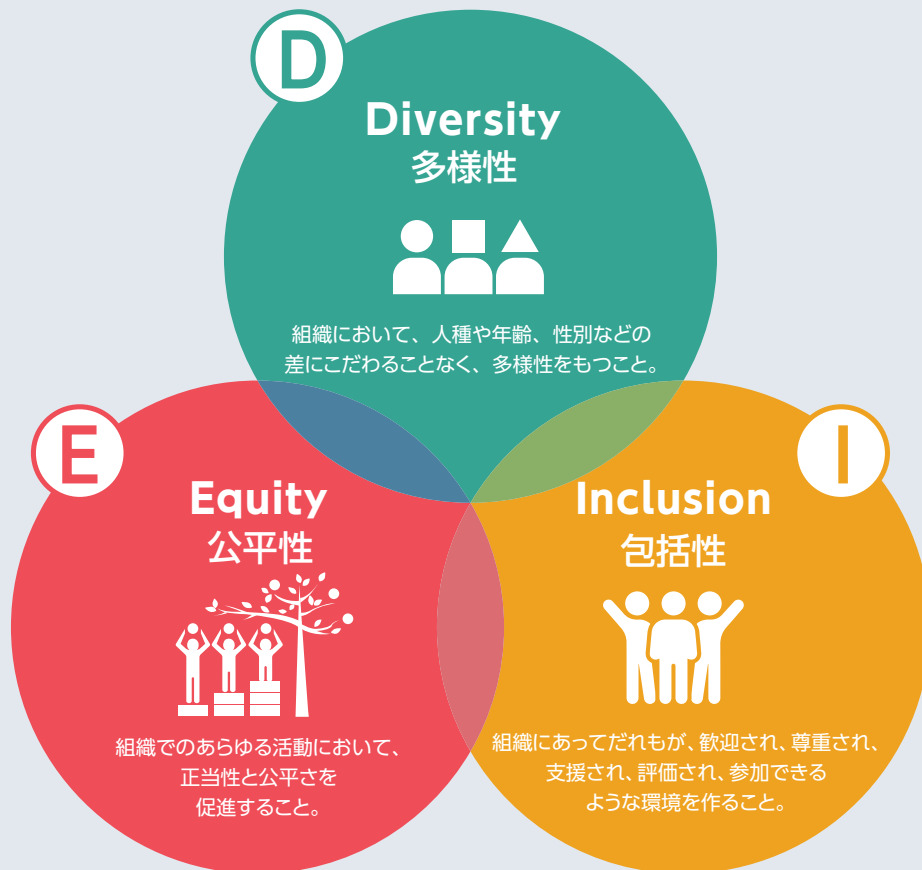


<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/campuslife/support/student-consulting>



京都大学 薬学研究科
DEI 推進委員会

DEI ってなに？



DEI を推進する利点

様々な価値観を共有した学生や教職員が集まり、それぞれの人が感性や能力を発揮できるようになると、組織内の発想やアイデアが豊かになり、教育や研究におけるイノベーション、協働性が向上することが知られています。

<https://www.elsevier.com/about/inclusion-and-diversity>

DEI 推進委員会の活動

学生および若手教員・研究者を対象とした学外研究者との交流促進

学外の新進気鋭の研究者を招いた京都大学薬学研究セミナーの講演後に、学生および若手教員・研究者が講師の先生と少人数で話をできる談話会をセッティングしました。

どのような質問をしましたか？

- 講演の内容に関する質問 (学部)
- アカデミアに進んだ理由 (博士課程)
- 海外留学について (学部)
- 研究テーマの立案、掘り下げ方 (博士課程)
- 博士課程進学を決めた理由 (修士課程、学部)
- 独立するための心がけ (博士課程)

談話会に参加した感想

- 講義以外の内容について先生に直接話を聞いたのがよかった。
- 博士課程の学位を取得した後に大事なことについて勉強できた。
- キャリアパスを考える上で参考になった。
- 日本の大学と海外の大学ではシステムや生活スタイルが異なることを知った。
- 研究室以外の学生や先生と話をできて、視野が広がった。
- 海外の大学で研究をするための具体的な方法を知ることができた。

育児支援および女性教職員・学生の活動しやすい環境の整備

おむつ替え台、ベビーチェアを本館 1 階、2 階、総合研究棟 1 階の多機能トイレに設置しました。

総合研究棟 1 階に女性専用多目的室を設置し、運用を開始しました。

